

生産局長賞（団体の部）

農協が中心となった積極的な侵入防止柵の普及により
被害対策に貢献

ちちぶ農業協同組合

（代表者：代表理事組合長 宮澤 勝男）

埼玉県秩父市

主な取組

ちちぶ農業協同組合の営農経営センターが中心となって、柵の導入による鳥獣被害対策の取組を積極的に推進。

県が開発した安価で簡易な多獣種対応柵の設置方法を農協職員自らが主体的に習得し、秩父市ほか3町で柵導入を積極的に推進。農業者は資材費の負担のみで、農協職員が地域貢献のため協働で柵を設置。さらに、農業者のために柵に独自の改良を加えるなどし、現場の実情に合わせて対応。

柵を導入した地域では、特にサルの出没が見られなくなったり、被害により遊休化していた畑で作付が再開されるなど成果が上がっている。

農協が中心となった鳥獣被害対策のモデルとして期待される。